

10月3日 テーマ：戻って来た一人

聖書箇所：ルカの福音書17章11節～19節

◆今日のみことば

そこでイエスは言われた。「十人きよめられたのではないか。九人はどこにいるのか。神をあがめるために戻って来た者は、この外国人のほかには、だれもいないのか。」

ルカの福音書17章17, 18節

◆メッセージ

ひふ病はとてもつらい病気です。ひふが荒れたり、かゆくなったり、痛くなったり……。酷くなると人に見られるのがとても辛くなって外にも出られず、大好きな友だちにも会えず、一人でどんどん寂しくなっていく孤独な病気です。

イエスさまの時代にもとても重いひふ病の人たちがいました。今日の聖書のお話は、この重いひふ病の十人の人たちのお話です。彼らのかかったひふ病は人にうつるので家族と一緒に住むこともできず、彼らは一緒に住んでいました。

ある日、彼らのいる町にイエスさまがやって来られました。十人の人はイエスさまのうわさを聞いていたので、治してもらおうと思い、イエスさまのところへかけつけ、遠く離れたところで彼らは大きな声で言いました。「イエスさま！！私たちに助けください」。イエスさまは、おっしゃいました。「行って、自分の体を祭司に見せなさい。」祭司というのは、神さまのお仕事をしている人で、病気が治ったかどうか見てくれる人です。「大丈夫かな。まだ治っていないのを人に見られたら、石を投げられるかもしれない。」「でも、イエスさまがおっしゃったとおりにしてみようよ。」十人は怖かったけれども、勇気を出して歩いていきました。すると、不思議なことが起こりました。あれほど、重かったひふ病がきれいに治ったではありませんか。「わあ、すごい！」「これで家族と暮らせる！」みんな大喜びです。九人は祭司のところに行きました。



あとの一人は、大きな声で、「神さま、感謝します！」と言いながら、イエスさまのところに戻ってきました。彼はイエスさまの足元にひざまずいて、心から「あり

がとうございます。」とお伝えしました。イエスさまは、そのことを、神さまをあがめるために戻ってきたと、とても褒めてくださいました。「これは神さまがしてくださいました。」と認めること、感謝することを神さまは喜んでくださいます。お願いのお祈りだけでなく、感謝のお祈りをして神さまをあがめましょう。



◆お祈り

「私を助けて、守ってくださる神さまに心から感謝することができるように。」